

科目名	サッカーゲーム 2							年度	2025
英語科目名	Sooccer Game 2							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 サッカーコース 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	永山、樋口(マリノス)、八重樫、志佐	教員の実務経験		有	実務経験の職種		クラブチームにてサッカーコーチとして従事		
【科目の目的】 公式戦では、日頃のサッカートレーニング、フィジカルトレーニング、ゲーム分析を通じ、最大限のパフォーマンスを発揮し、上位カテゴリーへ昇格できるようにする。また、練習試合では公式戦で勝利するためのトライ＆エラーをおこない、特にエラーについてはゲーム分析ならびトレーニングにて改善をし次戦では改善されたパフォーマンスが発揮できるようにする。									
【科目の概要】 神奈川県社会人サッカー公式戦とクラブユース・大学・高校との練習試合を実施します。									
【到達目標】 A. 個人としてのトライを行いエラーの理解のもとに修正できる B. チーム戦術の中で個人としてのトライを行いエラーの理解のもとに修正できる C. 試合に勝利するため協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれ行動できる									
【授業の注意点】 遅刻、欠席の場合は、授業前に教員室へ電話連絡をすること。安全性を確保すること（学生自身の十分な体調管理、ゲーム環境の確認と設営）。夏季は熱中症対策を強化する（各自水分補給を行うこと、回数の確保）。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価することができない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	個人としてのトライを行いエラーの理解のもとに修正できる		個人としてのトライを行いエラーの理解が理解できる		個人としてのトライを行いエラーの理解が理解できない				
到達目標 B	チーム戦術の中で、個人としてのトライを行いエラーの理解のもとに修正できる		チーム戦術の中で、個人としてのトライを行いエラーの理解ができる		チーム戦術の中で、個人としてのトライを行いエラーの理解ができない				
到達目標 C	試合に勝利するため協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれ行動できる		試合に勝利するため協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれる		試合に勝利するため協調、コミュニケーションがチームの一員としてとれない				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 配布プリント									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

